

2015年10月21日

株式会社 富士キメラ総研  
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町  
 12-5 小伝馬町YSビル  
 TEL.03-3664-5839 FAX.03-3661-1414  
<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>  
<http://www.fcr.co.jp/>  
 広報部 03-3664-5697

排ガス規制の強化を追い風に、二輪車の電装化が進む  
**二輪車向け電装システム、デバイス・コンポーネントの世界市場を調査**

2025年世界市場予測(2014年比)

二輪車向け電装システム...1兆3,595億円(77.1%増) 先進国のみならず新興国も搭載が増加  
 フューエルインジェクションシステム...8,445億円(2.3倍) インドや中国での搭載数増加で市場拡大  
 ブレーキ制御システム(ABS)...114億円(2.2倍) 先進国を中心に搭載義務化が進み市場拡大

マーケティング&コンサルティングの株式会社富士キメラ総研(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 田中 一志 03-3664-5839)は、二輪車と、二輪車向け電装システム/情報機器とその構成デバイス・コンポーネントの世界市場を調査し、二輪電装化の動向および将来を展望した。

その結果を報告書「二輪電装デバイス&コンポーネント総調査 2015」にまとめた。

二輪車は、低所得者の多い国・地域で四輪車に代わる移動手段として普及しており、特に、インド、中国、インドネシア、ベトナムで低価格車を中心に普及率が高くなっている。近年は、各国で施行される二輪車向け排ガス規制の厳格化が進むにつれ、従来のキャブレター(機械式燃料噴射装置)では規制に対応ができなくなりつつあり、四輪車では一般的なフューエルインジェクションシステム(電子制御燃料噴射装置)が搭載されるようになってきた。システムの電装化によって電源が確保されたため、今まで無縁だった電装システムが搭載されることになり、二輪車の電装化が始まっている。

<調査結果の概要>

二輪車向け電装システム分野別世界市場

	2014年	2025年予測	2014年比
パワートレイン系	6,488億円	1兆2,255億円	188.9%
走行安全系	54億円	119億円	2.2倍
ボディ系	466億円	536億円	115.0%
情報系	669億円	685億円	102.4%
合計	7,677億円	1兆3,595億円	177.1%

2014年の二輪車向け電装システム(9品目を対象)市場は7,677億円となった。パワートレイン系、走行安全系、情報系は、四輪車で使用されているシステムやデバイスなどが二輪車にも搭載されるようになってきており、四輪車電装化に追従する形で二輪車電装化も進展していくとみられる。一方、ボディ系などの利便性や快適性に寄与する電装品に関しては、二輪車独自のシステムが構築されるとみられる。

パワートレイン系システムは、排ガス規制に対するパワートレインの電子制御化・電動化が大きな成長要因となっている。中でも、燃料噴射を電子制御し最適な燃焼を行うことで排ガスをクリーンにするフューエルインジェクションシステムの採用が増加している。

走行安全系システムは、日本、EU、NAFTAといった先進国市場が先行している。中でもブレーキ制御システム(ABS)が市場の中心であり、EUや日本における搭載義務化に伴い伸びるとみられる。ADASやエアバッグシステムは、一部を除き研究開発段階にあり、実用化には時間を要するとみられるため、市場は小規模で推移

すると予測される。

ボディ系システムは、ヘッドランプシステムを指し、その市場規模は二輪車生産台数に比例する。ヘッドランプシステムのLED化が進むとみられ、LED使用量の増加に伴い市場は拡大が予想される。

情報系システムは、二輪車一台につき一つ搭載されるメーターシステムが市場の中心であり、二輪車生産台数の増加とともに拡大するとみられる。

二輪車電装化の進展は先進国が中心であるが、一部システムに関しては新興国においてもみられ、今後も世界的な二輪車の生産台数増加と電装化の進展により二輪車向け電装システム市場の拡大が予想される。

#### <注目市場>

##### フューエルインジェクションシステム

2014年	2025年予測	2014年比
3,635億円	8,445億円	2.3倍

排ガス規制の厳格化が進むにつれ、キャブレターでは対応できなくなっていくため、搭載が大幅に拡大していくことが予測される。

2014年の市場は、3,635億円となった。日本、NAFTAで生産された二輪車は94.7%の搭載率となった。中国やインドでの搭載率はまだ低く、それぞれ4.5%、1.9%となった。今後、各国での搭載率が高まり、2025年には世界二輪車生産台数の76.9%までに上昇すると予測される。

インドは、排ガス規制の強化が遅れている現状では、キャブレターが採用されており、フューエルインジェクションシステムの搭載が遅れているが、二輪車需要が最も高く、排ガス規制の強まりにつれ、2025年には搭載率が68.9%に上昇し、市場は拡大すると予想される。

<調査対象>

調査対象品目		
二輪車	(5品目)	モベッド(原動機付自転車)、小型自動車二輪車、中型自動二輪車、大型自動二輪車、電動式二輪車
システム	(9品目)	パワートレイン系 フューエルインジェクションシステム、アイドルストップシステム、電動システム 走行安全系 ブレーキ制御システム(ABS)、ADAS、エアバッグシステム ボディ系 ヘッドランプシステム 情報系 車載メーターシステム、情報通信システム
情報機器	(3品目)	カーナビゲーション機器、ETC/DSRC車載器、スマートヘルメット
デバイス&コンポーネンツ	(20品目)	圧力センサーモジュール、磁気センサーモジュール、温度センサーモジュール、加速度センサー、角速度センサー、酸素センサー、インジェクター、フューエルポンプ、電子制御スロットルボディ、エンジンECU、キャブレター、CDIユニット、三相交流ACジェネレーター、リチウムイオン二次電池、レーダーセンサー、LED、液晶ディスプレイ、小型モーター、ワイヤハーネス、コネクタ

<調査方法> 富士キメラ総研専門調査員によるヒアリング及び関連文献、データベース活用による調査・分析

<調査期間> 2015年7月～9月

以上

資料タイトル:「二輪電装デバイス&コンポーネンツ総調査 2015」 体 裁: A4判 222頁 価 格: 150,000円+税 CD-ROM付価格 160,000円+税 調査・編集: 株式会社 富士キメラ総研 研究開発本部 第二研究開発部門 TEL: 03-3664-5839 FAX: 03-3661-1414 発行所: 株式会社 富士キメラ総研 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-5 小伝馬町YSビル TEL: 03-3664-5839(代) FAX: 03-3661-1414 e-mail: info@fcr.co.jp この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL: <a href="http://www.group.fuji-keizai.co.jp/">http://www.group.fuji-keizai.co.jp/</a> <a href="http://www.fcr.co.jp/">http://www.fcr.co.jp/</a>
--